

日刊 動労千葉

85. 12. 23

No. 2124

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七



くるなるこい！ 不当処分粉砕 砕皮切りに三月ダイ改阻止ノ波濤

動労千葉は、十二月二〇日、十八時より、千葉市民会館において「十二・二〇不当処分粉砕・動労千葉総決起集会」を組合員、全国からかけつけてくれた国鉄労働者をはじめとする労働者・市民六五〇名の結集のもと開催し、第一波闘争の勝利と、切り拓いた地平を自信と確信をもって確認すると同時に、年内に予想される不当処分に対する反処分闘争を皮切りに、三月から十一月にいたる死活をかけた決戦への決起に向けた強固な意志統一をかちとつた。

冒頭、主催者あい

さつにたつた中野委員長は「われわれはスト決起で当局と労働者との力関係を対等のものとした。当局が攻撃すれば必ず労働者は反撃することをわからせた。そして『分割・民営化』を社会問題化させ、政治の焦点にすえた。それゆえに敵は、未だ処分も出せない。われわれの闘いを批難しているのは、民社・協会派と革マルだけだ。反動を粉砕してこそ闘いは本物となるが、すでにわれわれは、その半分粉砕した。確信も固く年末・年始・三月と闘いぬき、十一月に向けた巨大な展望を切り拓こう」と力強く訴えた。

動労千葉に続き必ず国労のストライキを実現する
—— 国労の仲間が決意 ——
スト当日、津田沼で共に闘いぬいた反対同盟は、成田用水攻撃との熾烈な攻防の渦中より北原事務局長、小川嘉吉さん、島村良助さん、宮本衛さん、市東東市さん、萩原作治さん、郡司トメさん、伊藤信晴さんがかけつけられ、代表して北原事務局長より熱い連帯のあいさつをうけた。

さらに、はるばる関西よりかけつけてくれた、元意岐部東小教頭の辻岡氏、部落解放同盟荒本支部田中書記長、淡路町

空港反対同盟の永井さんより「動労千葉を物心両面から支える、闘って闘って勝利しよう」と固い連帯のあいさつを受けた。国労の仲間は「動労千葉の闘いは、われわれの闘いだ。必ず守りぬくと共に、国労スト実現へ断固闘う」とキツパリと宣言した。続いて、全通東京空港支部青年部長、東京実行委員会の長谷川英憲氏、法政大学で学費値上げ阻止を闘う学生が次々に登壇し、決意と激励の言葉を述べた。

動労千葉の闘 う姿を映画に 宮嶋監督撮影開始



来なかつたのは軍艦だけと言われるGHQの大弾圧下で、東宝争議の争議委員として闘いぬき、映画監督としても有名な宮嶋義勇氏は今後六カ月間をかけた動労千葉の映画を製作することを明らかにすると共に「やっとな日本の労働者が闘う地点に達した。がんばって下さい」と熱くべく訴えられた。OB会を代表して関川前委員長より挨拶を受けた。数多くの激電・メッセージが披露されたのち、布施書記長の「切り拓いた地平を確認し、自分自身の力を信じ、不当処分粉砕を皮切りに、三月ノ十一月ダイ改阻止、十万人首切り粉砕へ総決起しよう」との基調報告を圧倒的に確認、さらに千葉運転区永田支部長、津田沼支部重見副支部長より断固たる決意をうけ、全員、暮・正月を返上し、怒りの反撃に打って出ることを誓いあった。